

3 - 3 伊豆諸島付近の地震活動 (1982年12月～1983年10月)

Seismic Activities in the Izu Islands Region (December, 1982 - October, 1983)

東京大学地震研究所

地震予知観測室

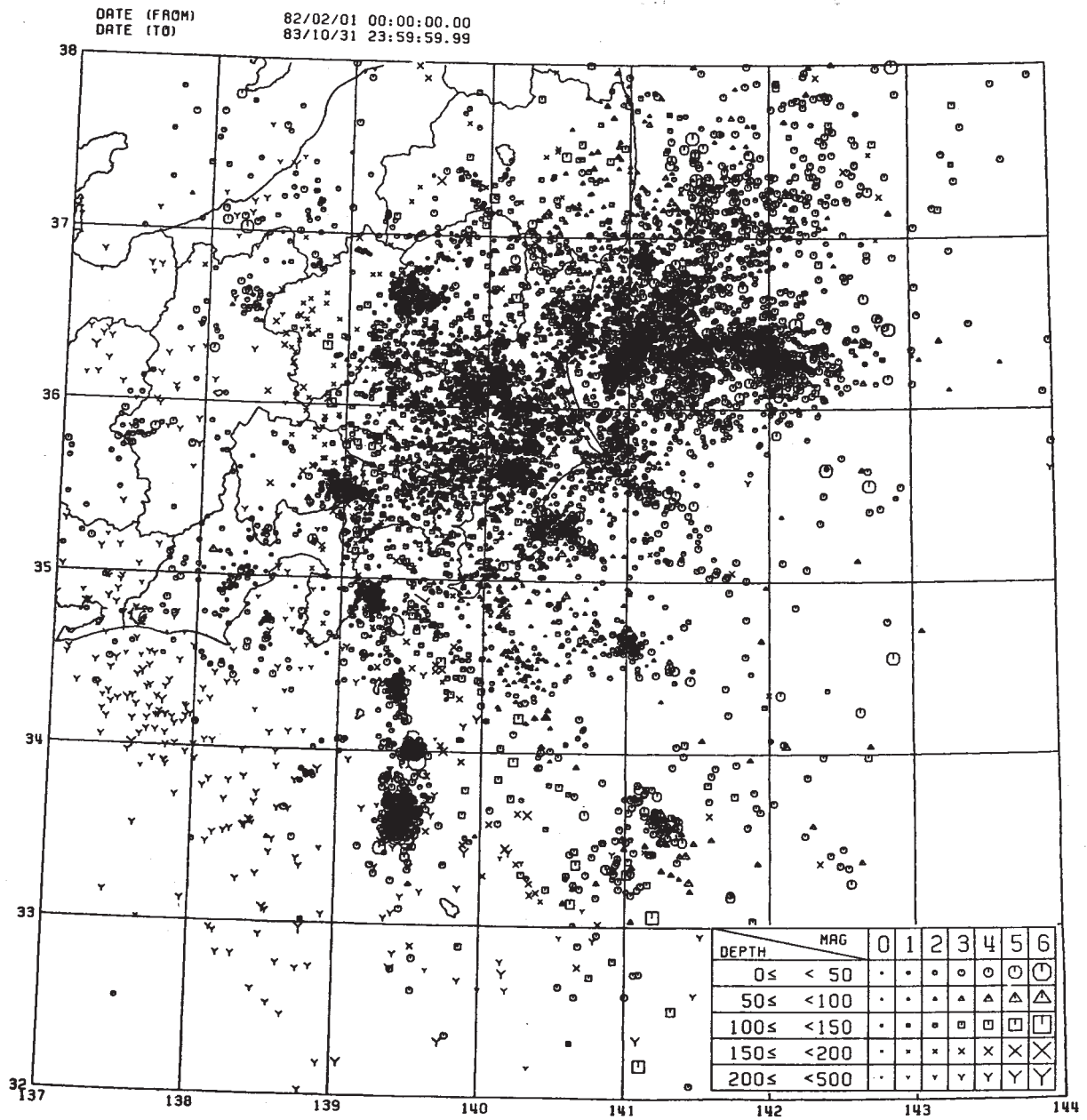
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

第1図に1982年2月1日から1983年10月31日までの関東地方とその近海の微小地震活動を示す。このうちとくに注目されるのは1982年12月下旬からの三宅島付近の地震活動にはじまる伊豆諸島付近の地震活動の活発化である。第2図の一連の活動は、

- 1) 三宅島南方沖 (1982年12月27日～1983年1月20日頃, M6.4)
- 2) 伊豆半島東方沖 (1983年1月13日～31日頃, M4.5)
- 3) 新島東方沖 (1983年8月19日～9月14日頃, M4.2)
- 4) 三宅島付近 (1983年10月3日～15日頃, M6.2)

である。括弧内はそれぞれの活動期間と最大地震の規模Mである。なお神奈川, 山梨県境で8月8日, M6.0を本震とする活動が2)の活動の後, 3)の活動の前におきた。1)～4)の最大地震および8月8日, 神奈川, 山梨県境の地震M6.0のメカニズム解を第2図に示す。第3図(a)～(e)はこの一連の活動の推移を時間の順に重ね合せた震央分布図で示したものである。またこれに対応する地震活動の時空間分布を第4図に示す。

なお, 第4図に示すように1982年12月の三宅島南方沖の活動の以前に1982年9月16日～20日に新島南東沖でM4.0～1.8の地震が群発した。さらにそれ以前の活動としては1981年9月20日, 三宅島南方沖M4.7および1981年1月5日, 新島南方沖M4.0がある。

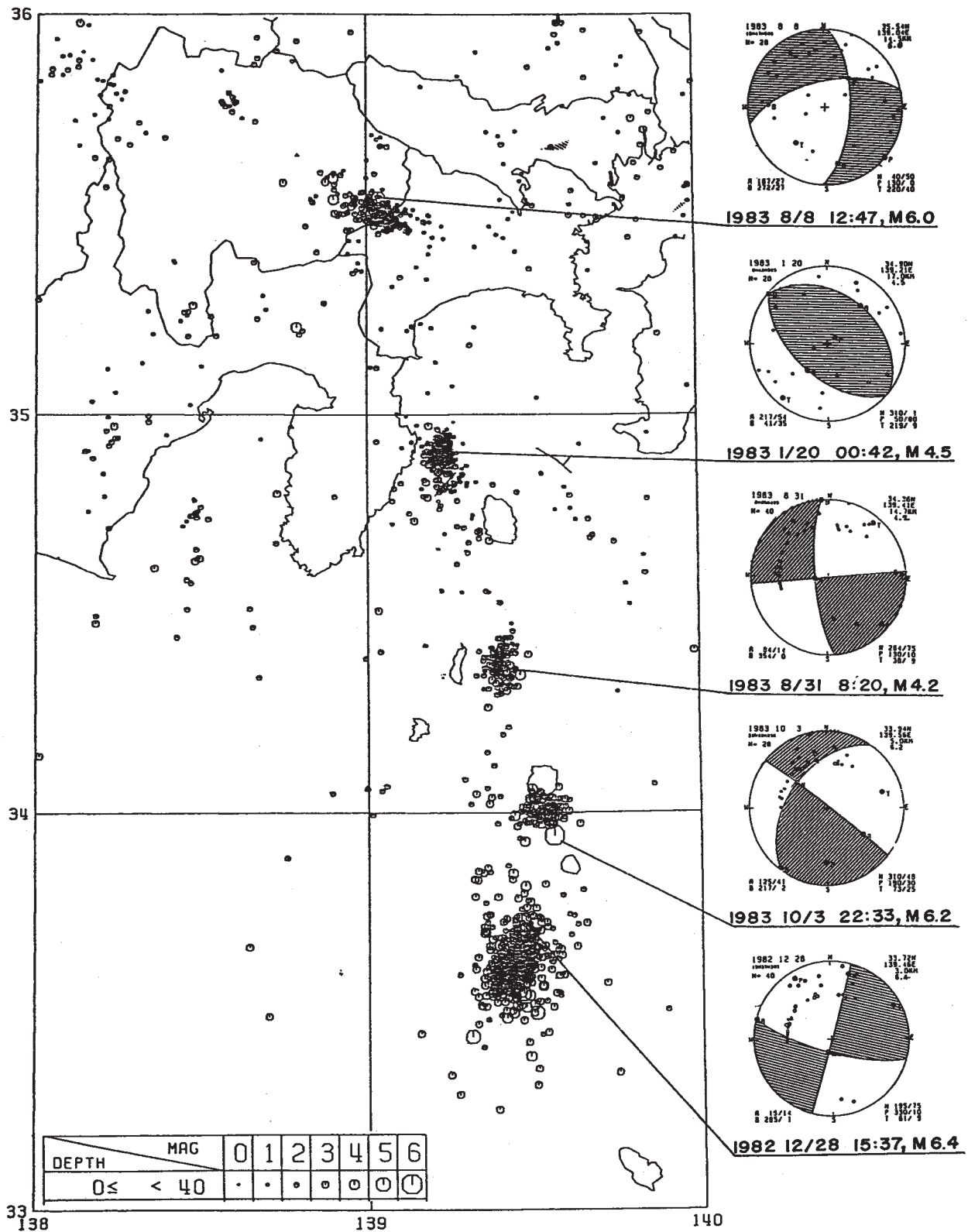


第1図 関東地方とその近海の微小地震活動（1982年2月～1983年10月）

Fig. 1 Distribution of microearthquakes in the Kanto district and its neighbouring sea areas (February, 1982 - October, 1983).

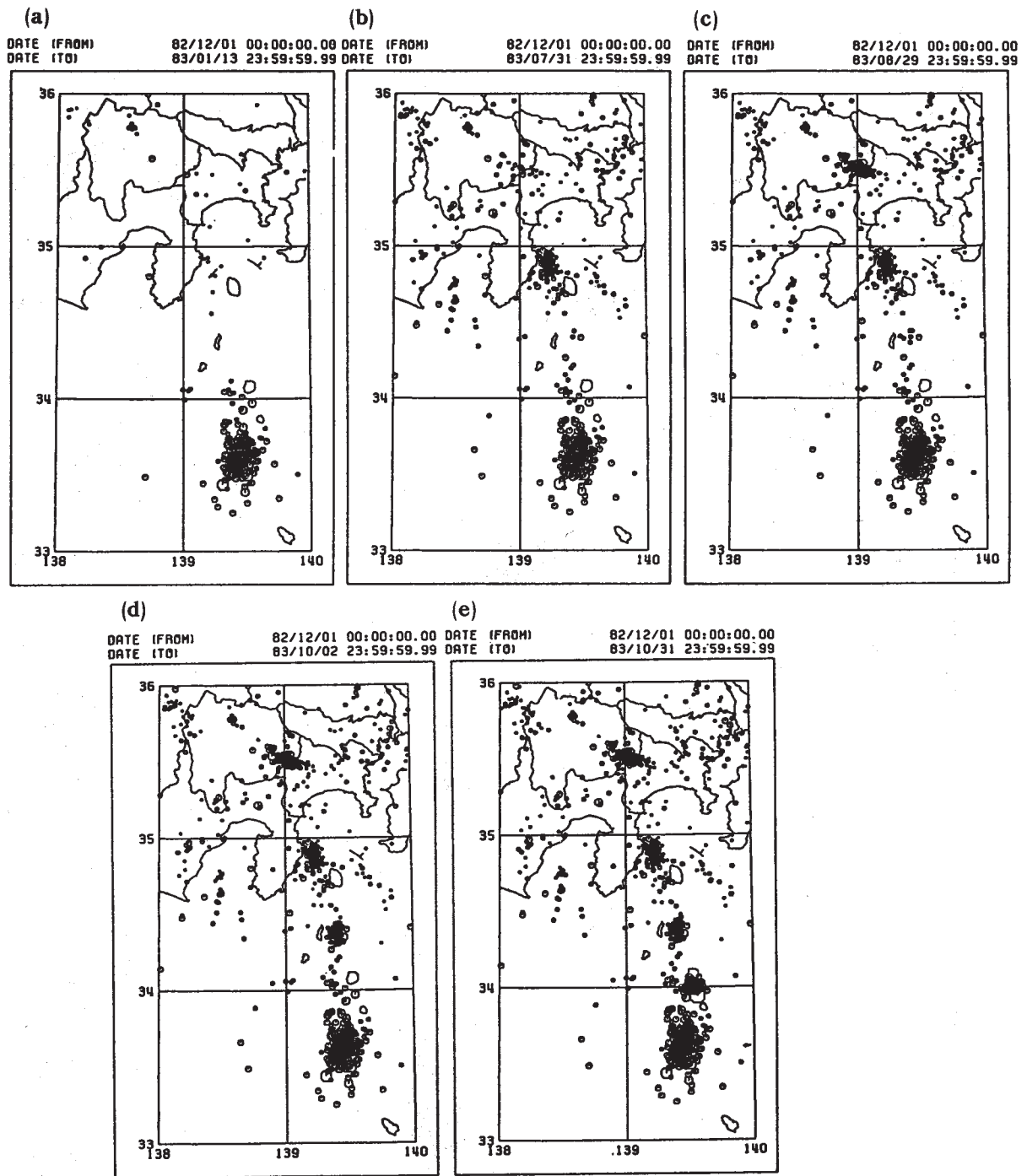
DATE (FROM)
DATE (TO)

82/12/01 00:00:00.00
83/10/31 23:59:59.99



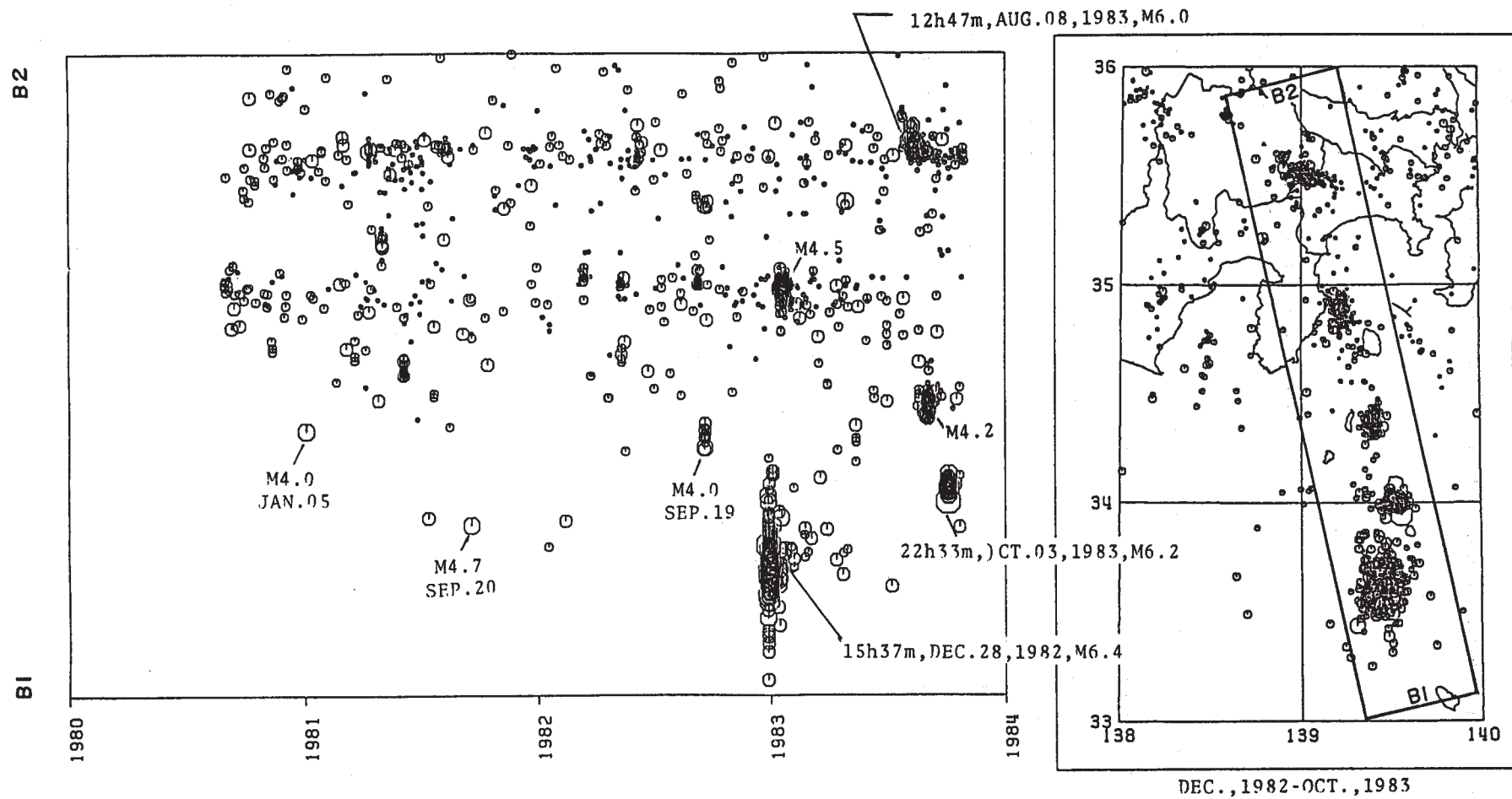
第2図 伊豆諸島付近の地震活動（1982年12月－1983年10月）と主な地震のメカニズム解（下半球投影，斜線部はDilatation）

Fig. 2 Seismic activities in the Izu Islands Region from December, 1982 to October, 1983 and fault plane solutions for major earthquakes projected on lower hemisphere (shaded zones for dilatation).



第3図 伊豆諸島付近の地震活動の推移（1982年12月1日から(a)1983年1月13日、(b)7月31日、(c)8月29日、(d)10月2日、(e)10月31日まで）

Fig. 3 Temporal variation of seismic activities in the Izu Islands Region from December, 1982 to (a) January 13, (b) July 31, (c) August 29, (d) October 02 and (e) October 31, 1983.



第4図 伊豆諸島付近の地震活動の時空間系列 (B1 - B2 にそって見たもの)

Fig. 4 Space-time variation of seismic activities in the Izu Islands Region (along B1 - B2).